

経営比較分析表（令和元年度決算）

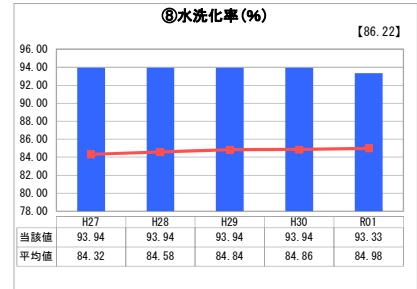
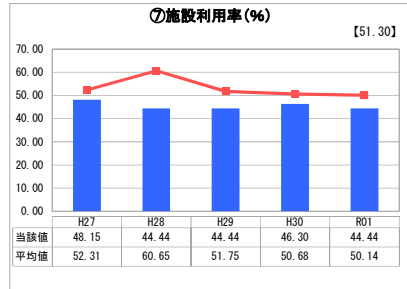
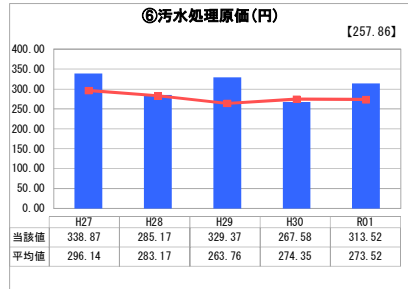
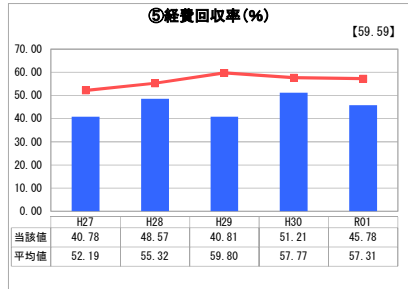
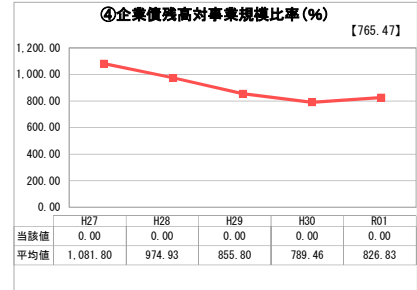
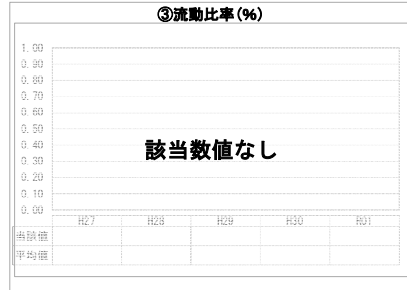
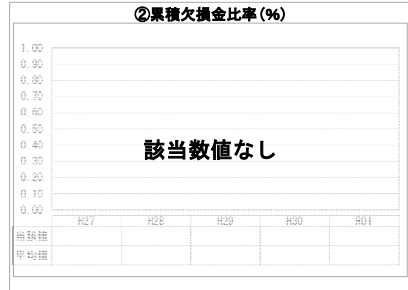
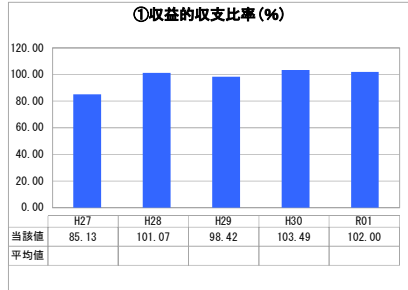
香川県 綾川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	0.50	100.00	2,640

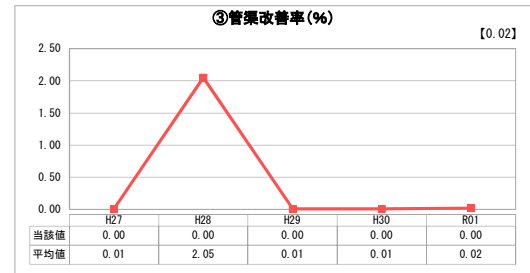
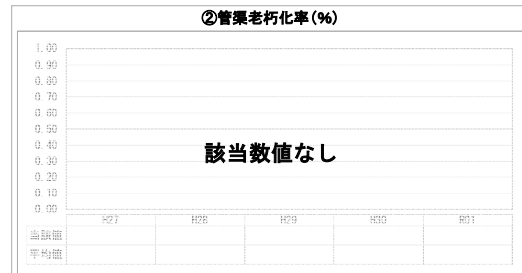
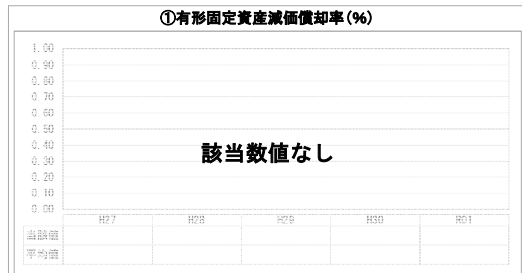
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
24,072	109.75	219.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
120	0.12	1,000.00

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
□	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○収益的収支比率及び経費回収率はマンホールポンプ等修繕経費の減により前年度を上回りました。

○企業債残高対事業規模比率(%)は、当初計画において、一般会計が負担するとされており該当数値はありません。

○経費回収率の減、汚水処理原価の増、施設利用率の減、水洗化率の減については、人口の減によるものです。

○今後とも新たな利用（土地改良事業の性質上、受益地、受益者が限定されており、また、一般家庭以外の用途利用が見込めない。）や使用料収入の増加（下水道使用料に準じた使用料水準としているが、使用料改定したとしても増収は微少なものである。）が見込めないことから、より維持管理の適正化に努めます。

2. 老朽化の状況について

○供用開始から20年が経過し、処理施設及びマンホールポンプ施設の月次点検や自主的な水質検査により、経年劣化によるマンホールポンプ施設の一部更新はありますが概ね適正に管理が行われています。

なお、令和元年度に「施設機能診断」を実施し、この結果を基に令和2年度において「最適整備構想」を策定しております。

全体総括

○平成30年度に策定した経営戦略（平成30年度～令和9年度）に基づき、処理施設の適切な維持管理を継続することにより、更新費用の平準化に努めます。

小規模事業であり、将来的には地区内人口の減少及び施設の老朽化が課題となることから、本町の第3次行政改革実施計画（集中改革プラン）また、最適整備構想においても「農業集落排水事業について、将来の事業そのものあり方について検討する。」とされています。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。